

# 受講を勧める際の注意点

eトレの受講を勧める際、話し方によっては逆効果になる場合もあります。以下の点に注意して、より多くの生徒にeトレコースを受講してもらいましょう。

## 禁句 その1

**「君は本当に数学ができないね。  
仕方がないから、eトレで勉強しなさい」**

これではeトレが『勉強ができない生徒のためのペナルティ』ということになってしまいます。仮に、言われた生徒がしぶしぶeトレを申し込んだとしても、他の生徒はeトレを申し込みたくなるはずがありません。『勉強ができないからeトレをやらされる』=『eトレをやる生徒は勉強ができない子』という構図ができ上がってしまい、優秀な生徒は決してeトレを受講しようとは思わないでしょう。

## 禁句 その2

**「役に立つかどうか分からないけど、  
一応eトレで勉強してみるかい？」**

問題集を与える場合も同じことですが、先生が自信をもっていないものを勧められても、生徒がその気になるはずはありません。

## お勧め その1

**「君はもっともっと数学が伸ばせるぞ。eトレで  
どんどんとトレーニングして力をつけよう」**

**「君はトップ校の〇〇高校を目指すんだよね。  
じゃあeトレでパワーアップして絶対合格しよう」**

eトレは『できる生徒がより力をつけるためのコース』というイメージで勧めましょう。実際、勉強のできる生徒がeトレでさらに力をつけるのを見て、それまであまり乗り気でなかった勉強の苦手な生徒があわてて申し込むといったケースもあるようです。

## お勧め その2

**「君に足りないものはトレーニングだけだよ。  
私の授業をしっかり聞いて、後はeトレでしっ  
かりトレーニングをすれば、鬼に金棒だよ」**

ご自分の授業の良さと、eトレの演習効果を、自信をもって生徒に伝えましょう。先生が自信を持って勧めるからこそ、生徒も安心してその教室で授業を受け、eトレを受講する気持ちになるのです。

### ■その他こんな点も気をつけて

- × eトレを受講する?それとも受講しない?
- eトレではどの科目をメインに受講する?
- 君はeトレでまず英語から伸ばしてみたらどうかな?

※eトレはみんなが受講して当たり前、という雰囲気を作りましょう。eトレで勉強する科目や単元まで、できるだけ具体的なアドバイスをあげると、受講率がさらに高まります。